



専修大学

新たな社会問題を発見し解決できる 高い志を持った法曹を養成

教育の特色

分析に基づいた授業とカリキュラムで学びの努力に成果で応える

1. 導入授業

入学試験合格から入学までの数ヶ月間、入学後の授業にスムーズに適用できるよう、4月から授業を担当する教員による導入授業を実施しています。本学で作成している導入授業講義ノートを基に15回ほどの講義を無料で行います。これを入学前に徹底して学習することで、入学後の学習効果が飛躍的に増大します。

2. 少人数、双方向的授業

開講するすべての科目を少人数で行うことを原則とします。たとえば、法律基本科目の講義においては、15名程度の少人数で、対話形式、双方向的授業を意図するソクラテックメソッドの授業方式で行います。

3. 体系的な思考力・

実践的な問題解決能力の会得

1年次には法学の基礎知識と理論を充分に会得できるよう法律基本科目を配置し、体系的な思考力を身につけます。2年次には、ケースメソッドやプロブレムメソッドを用いた演習などにより、基礎力と相乗効果的に実践的な問題解決能力を高めることに重点を置きます。

4. 豊富な展開・先端科目

2・3年次には、多様な専門分野（民事関係、刑事関係、企業法務関係（コーポレート・ガバナンス）、知的財産法務関係、渉外法務関係、コミュニティサービス関係など）に対応した多くの科目（展開・先端科目）から、自らの課題意識にあわせて自由に科目を選択できます。



す。豊富な科目を配置することで、多様な課題を解決できる専門的な法曹を養成します。

5. クラス担任制

1クラス15名以下によるクラス担任制度を取り入れています。そこでは、専任教員2名による日常的な学習相談や進路指導など、きめ細かい指導・相談に応じることができます。

6. オフィスアワー

授業の前後の時間帯等を利用して学生からの質問に対応し、学習上のアドバイスを受けることができます。

7. 成績評価方法

成績評価の方法については、GPA方式（セメスターごとの成績を8段階に分けてポイントを換算し、総履修単位数（F評価も含む）のポイントの平均値を算出）を採用します。また、全ての科目で到達目標を設定しています。

8. 進級要件

法学未修者、法学既修者問わず、履修科目の通算GPA1.50未満は上級学年へ進級することはできません。

なお、法学未修者は2年次と3年次へ進級する2回、法学既修者は3年次へ進級する1回、進級判定を実施します。

9. 修了要件

修了要件は、法学未修者が3年以上在学して106単位以上、法学既修者は2年以上在学し70単位以上をそれぞれ修得し、かつ、両者とも通算GPAが1.50以上であることが条件となります。

10. 在学生支援プログラム

授業担当教員と本学法科大学院を修了した実務家講師が共同でプログラムのカリキュラムを決定し、個々の学生の到達度を確認しながら講義・演習を行います。学生の達成度を正確に把握することによって、学力に合った内容に随時修正しながら実施しています。

11. 今村記念法律事務所

今村記念法律事務所では、社会が求める法曹を養成するために、エクスターンシップ、クリニックなど、実践的で効果的な実務基礎科目を展開しています。そこでは、学生自身が実務家教員とともに実際に法律相談の場に臨むなど、実務に接することで、どのようなことを学ぶべきか自発的に考える機会を提供します。

12. 施設

施設（設備）は、地下鉄神保町の駅から徒歩1分という好立地にあります。法科大学院の授業では、予習・復習が欠かせないことから、

法務研究科

●入学定員

法務専攻28名
（法学未修者10名程度／法学既修者18名程度）

●修業年限・取得学位

3年（法学未修者） 2年（法学既修者）
法務博士（専門職）

●教員数

専任教員 21名（うち実務家5名）
兼任教員 17名
非常勤教員 18名

長時間利用可能な個人専用のキャレルを全員に用意しています。このキャレルは、法令集などの書籍を広げながら学習することができるよう通常のものより大きく設計され、私物収納ロッカーをビルトインした個性的なものです。

さらに、図書館、情報端末室を同一のフロアに集約し、法令データベース等各種情報検索やインターネットを利用した学習、レポート・論文作成などにおいて学習効果を最大限引き出せるよう配慮しました。



キャレルの様子 ※撮影のため一部扉をはずしてあります。

13. アカデミック・アドバイザー

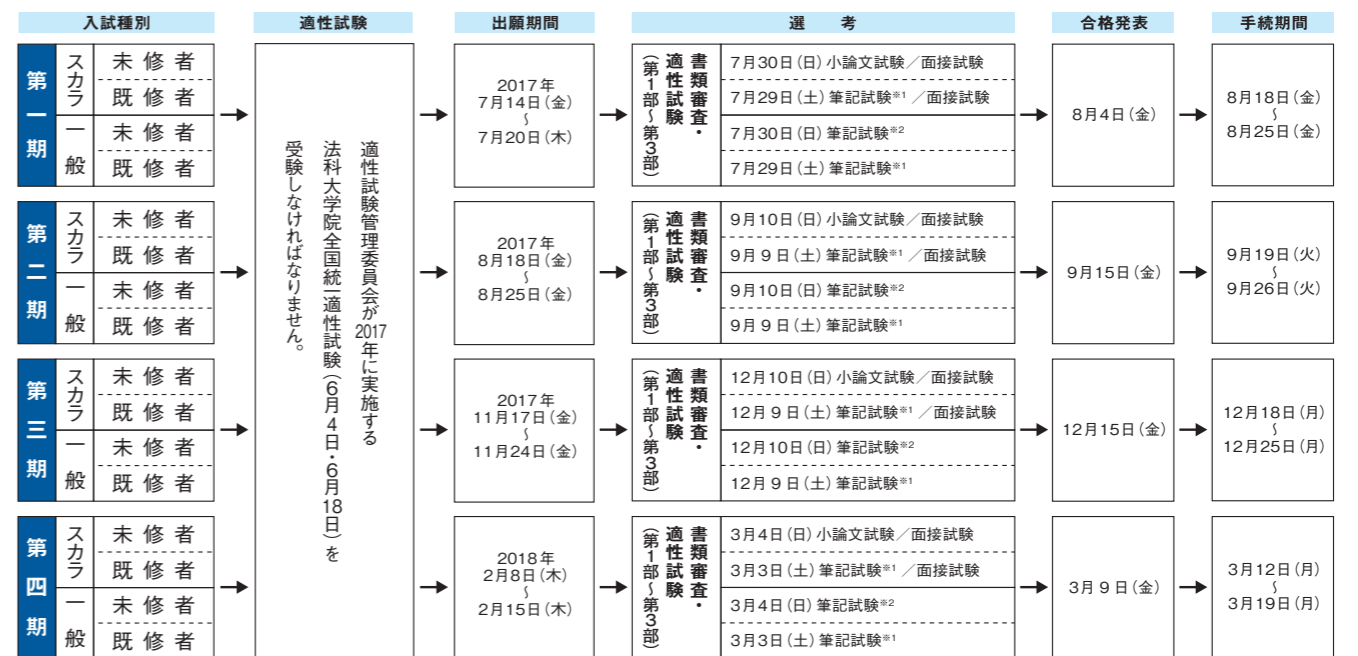
本学を修了し、司法試験に合格した弁護士が学習方法や勉強上の疑問点、法曹の仕事内容などについてアドバイスを行う「アカデミック・アドバイザー制度」を設けています。在学生はもちろん、修了生も利用可能で、未修者・既修者それぞれに対応した相談が受けられます。

授業料・奨学金

3つの給付型奨学金を設置するなど奨学生制度が充実

法科大学院を取り巻く環境は大きく変化し、その中で法曹希望者が経済的理由から法科大学院への進学を諦めざるをえないという事態が生じています。本法科大学院は、こうした現状を踏まえて法曹希望者に進学の手助けをすることを目的として奨学生制度を充実させています。

入学者選抜の流れ



1. 学術奨励奨学生制度

①スカラシップ入試奨学生

入学者選抜試験（スカラシップ入試）の合格者全員に、未修者には3年間、既修者には2年間、入学金、授業料及び施設費相当額並びに月額8万円（年額96万円）を奨学金として支給します。

②新入学生学術奨励奨学生A

入学者選抜試験（一般入試）の合格者のうち、その成績が極めて優秀な者（未修者及び既修者の合格者のうちから10名以内）に、未修者には3年間、既修者には2年間、入学金、授業料及び施設費相当額を奨学金として支給します。

③新入学生学術奨励奨学生B

入学者選抜試験（一般入試）の合格者のうち、その成績が優秀な者（未修者及び既修者の合格者のうちから10名以内）に、未修者には3年間、既修者には2年間、授業料の2分の1相当額を奨学金として支給します。

*スカラシップ入試奨学生に採用された者は、その他の学術奨励奨学生制度及び今村力三郎記念奨学生制度の採用の対象外となります。

*司法試験の出願に関して、本学法科大学院の受験資格以外で司法試験を受験された場合は、支給した奨学金の返還を求めます。

*その他奨学生採用にあたっての注意事項については、募集要項をご覧ください。

2. 今村力三郎記念奨学生

在学生を対象としたものであり、前年度の学業成績が上位で、かつ、日頃の学習態度及び人物の点からも専修大学が誇れる法曹となることを期待できるものを採用します。ただし、学術奨励奨学金の受給者は、この

対象者から外れます。採用は2年次生（未修者）及び3年次生からそれぞれ若干名とし、授業料の2分の1相当額を奨学金として支給します。

その他、経済支援奨学生制度があります。

3. 学費（平成29年度）

入学金（初年度のみ）	200,000円
授業料	950,000円
施設費	260,000円
教育充実費	20,000円
校友会入会金（初年度のみ）	10,000円
初年度納入金 合計	1,440,000円

*本学の学部卒業生及び本学大学院修了生は入学金と校友会入会金を免除します。

平成30年度の入学者選抜試験

1. 法学未修者試験（一般入試）で入試方式を選択・併願が可能

適性試験第四部利用入試型と独自小論文入試型とを選択、または併願することが可能です。方式によって有利・不利がないよう等化作業を行い、点数を算出します。

2. スカラシップ入試制度の拡充

スカラシップ入試を7月（第一期）、9月（第二期）、12月（第三期）、3月（第四期）の4回に拡充しています。あわせて、同日中に実施する入試の併願について、追加の入学検定料を不要とする改定も行っています。

3. 入学検定料の割引

受験者の経済的負担に配慮し、複数回受験者の入学検定料を割引します。

1回目の受験では、1日35,000円ですが、2回目以降は1日10,000円で受験することができます。

※同年度内に限ります。

入試相談会

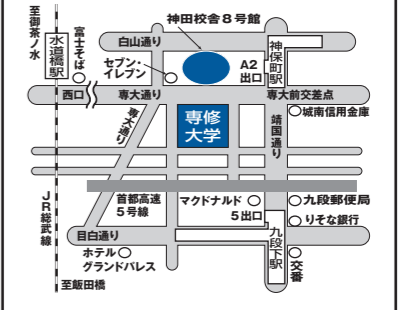
学内説明会

*6/24(土)	10:00~12:00
*7/22(土)	10:00~12:00
*11/4(土)	10:00~12:00
*1/20(土)	10:00~12:00

説明会及び専任教員、在学生または修了生による個別相談、法科大学院施設見学の実施を予定しています。事前予約は不要です。詳細については、ホームページをご覧ください。

◆アクセス

- 神保町駅下車「A2出口」より徒歩1分：都営三田線・都営新宿線・半蔵門線利用
- 九段下駅下車「5出口」より徒歩4分：東西線・都営新宿線・半蔵門線利用
- JR水道橋駅下車西口より徒歩6分



●問い合わせ先

〒101-8425
東京都千代田区神田神保町3-8
専修大学 法科大学院事務局
Tel 03-3265-6891
URL <http://www.senshu-u.ac.jp/>